



平成 18 年 7 月期 第 4 四半期財務・業績の概況（3 ヶ月間）（連結）

平成 18 年 9 月 1 日

上 場 会 社 名 日本駐車場開発株式会社

（コード番号：2353 東証第一部・JASDAQ）

（URL <http://www.n-p-d.co.jp>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 巽 一久

問い合わせ先責任者 役 職 名 取締役副社長 氏家 太郎 TEL (03) 3218-1904

決算取締役会開催日 平成 18 年 9 月 1 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の移動の有無 : 無

2. 平成 18 年 7 月期 第 4 四半期財務・業績の概況（3 ヶ月間）（平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 4 四半期	1,544	18.4	359	9.5	463	38.2	269	36.3
17 年 7 月期 第 4 四半期	1,304	30.3	328	38.4	335	45.4	197	—
(参考) 17 年 7 月期	4,512		979		1,019		612	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 4 四半期	78	92	78	65
17 年 7 月期 第 4 四半期	58	93	57	56
(参考) 17 年 7 月期	183	13	178	76

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期の 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 4 四半期におけるわが国の経済は、6 月に日経平均株価が 15,000 円を割り込んだものの、企業収益の改善が鮮明になり、設備投資の拡大や個人消費にも改善の兆しが見られました。また、日銀による量的緩和政策が解除されるなど、デフレ経済からの脱却に向けての進展が見られ、景気は緩やかながら着実に回復へと向かいました。駐車場市場においては、今年 6 月に施行された改正道路交通法による路上駐車即時摘発開始により駐車場の稼働率が上昇するなど、利用環境が劇的に変わりました。また不動産市場においては、構造偽装問題があったものの、J-REIT の新規上場も活発化しており、REIT や私募不動産ファンドの収益重視の姿勢はますます強まるものと考え、不動産オーナーへの営業を強化し、物件の更なる獲得を目指しております。また、既存施設のリニューアルや安全向上などのコンサルティング、メンテナンス業務の獲得も並行して行っております。

当第 4 四半期においては、全国各拠点で直営物件が増加したことに加えて、当第 4 四半期以前に運営を開始した直営物件が順調に稼働した結果、直営事業売上は 1,260,348 千円（前年同期比 18.6%増）となりました。また、関東の商業施設などの大型時間貸しマネジメント物件が順調に増加したため、マネジメント売上は 132,986 千円（前年同期比 81.6%増）と大幅増となりました。韓国でのコンサルティングや地方都市での駐車場コンサルティング業務を受注しましたが、VA サービス売上は 71,927 千円（前年同期比 32.9%減）と減少いたしました。これらにより全社での売上高は 1,544,322 千円（前年同期比 18.4%増）となりました。

青山エリアの時間貸し駐車場にモデル事務所所属の人員を配置するなど時間貸し駐車場におけるサービスレベル向上の施策を行ったこと、当社グループに収益が偏っていた一部駐車場において賃料改定を行い、駐車場オーナーに収益を還元したこと等により、売上総利益率は 43.4%（前年同期より 2.0 ポイントの低下）となりました。売上高販管費率は 20.1%（前年同期より 0.2 ポイントの向上）、営業利益は 359,790 千円（前年同期比 9.5%増）となりました。営業外収益として、投資有価証券売却益や受取配当金などを計上した結果、経常利益は 463,623 千円（前年同期比 38.2%増）となり、第 4 四半期純利益は 269,376 千円（前年同期比 36.3%増）となりました。

平成 18 年 7 月期第 4 四半期財務・業績の概況(3 ヶ月間) (平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日)

(1) 経営成績(個別)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 4 四半期	1,482	24.2	307	21.4	410	57.8	241	56.8
17 年 7 月期 第 4 四半期	1,193	60.0	253	48.9	260	59.3	153	—
(参考) 17 年 7 月期	3,750		700		741		450	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 4 四半期	70	65	70	41
17 年 7 月期 第 4 四半期	45	87	44	79
(参考) 17 年 7 月期	134	66	131	44

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期の 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。